

## 学会通信 (二〇〇七年九月～二〇〇八年三月)

### 一、学会活動

現代中国学会主催講演会

一〇月二六日「農民ドキュメンタリー「無米粟」について台湾における重層的な記憶」黎湘萍氏(中国社会科学院文学研究所研究員)

一二月二七日「映像の中の現代中国政治—記録映画をどうみるか—」長井曉氏(NHK放送文化研究所主任研究員)

二月二五日「中国における冷戦史研究の展開と課題」牛大勇氏(北京大学歴史学教授)

### 二、学会員活動

河辺一郎「戦後日本政治と平和外交」(共著、法律文化社、一二

月)、「日米間の溝」(論文、「進歩と改革」進歩と改革研究会、九月号)、「福田ドクトリンの意味と日本外交」(学会報告、公共政策学会、シンポジウム「福田ドクトリン三〇周年と日本外交」一二月一五日)

黄英哲「去日本化」「再中国化」—戦後台湾文化重建(1945-1947)台北・麦田出版、一二月)、「楊基振日記 附書簡・詩文」全二冊(台北・国史館、一二月)、「台湾における『藤野先生』」講演、日本中国現代文学研究者懇談会、於名古屋大学、一〇月五日

高明潔「パラダイム・コ・ビヘイオリズムの課題として」(コメントータ、一現代中国学の新しいパラダイムをめぐる)二〇〇

〇七年度愛知大学国際中国学研究センター国際シンポジウム、一二月一六日)

砂山幸雄「当代中国的民族主義言説与日本」(報告、日中国交正常化三十五周年記念国際シンポジウム、主催・中国社会科学院日

本研究所以、於北京、九月八日・九日)

馬場 毅「東亜同文書院関係者の中国革命支援—孫中山と山田兄

弟の関係を中心に」(報告、愛知大学東亜同文書院大学記念センター国際シンポジウム、於愛知大学車道校舎、七月二八日)、「近代史における北京」講演、愛知大学オープンカレッジ、於愛知大学車道校舎、一二月六日)、「東洋のキリスト教への視線」(中国21) Vol. 28、一二月)

中国21 Vol. 30 予告(08年11月刊行予定)

### 特集 ● 公正と救済——格差社会の克服をめざして

めざましい経済成長の陰で深刻化する格差問題。格差を生み出す構造を直視し、公正という観点から救済を模索するさまざまな動きや思索を、司法、財政、教育、医療、文学など多面的な領域で考察する。

【論説】季衛東、高橋満、梶谷懐、宇野和夫、松戸庸子、三好章、加藤三由紀、江沛、吉田治郎兵衛 ほか 【書評】K. O'Brien and Lianjiang Li, *Rightful Resistance in Rural China* (谷川真一) 【インタビュー】「中国人日本研究者の歩みと日中関係—馮昭奎氏(元中国社会科学院日本研究所副所長)に聞く」

### ご案内

国際シンポジウム **帝国主義と文学**—植民地・淪陥区・満洲国  
二〇〇八年八月一日(金)～三日(日) 愛知大学車道校舎コンベンションホール  
基調講演: John Tread, 王徳成/テーマ: 「帝国主義とは」「帝国主義と文学」「帝国主義と演劇」「帝国主義と映画」/パネリスト: 廖炳惠、王曉明、Leo Ching、董炳月、Eye Keenan、岡田英樹、張泉 ほか  
お問い合わせ: 愛知大学名古屋校舎総務課

Tel. 0561-36-1111 Fax. 0561-36-5546 E-mail: yingche@atohi.u-a-c.jp